

### カリキュラムの概要書

講座 No.	H03-4	講座名	保育士養成	定員	8名
対象者	法律)児童福祉法18条六第1号にて規定される指定保育士養成施設に入学ができる者。および、学校教育法第125条第3項にて規定される専修学校専門課程に入学できる者。				
修了の要件	卒業をもって訓練修了とするもの				
講座内容	地域住民や地域の施設と連携したカリキュラムにより、特別な支援を必要とするこどもと家庭を支援する保育技術・相談援助技術が身に付く。				
実施施設	埼玉福祉保育医療専門学校 保育士科(昼間主コース)				
所在地	埼玉県さいたま市大宮区仲町3-88-2				
連絡先電話	048-649-2331				
最寄駅	JR線他 大宮駅 東口 徒歩約7分				
訓練期間	令和3年4月2日(金) ~ 令和5年3月17日(金) [予定]				
訓練時間	午前9時10分 ~ 午後2時40分 (90分 1時限 : 1日3時限)				
自己負担額	約95,000円 ※保育士以外の資格取得に係る全経費及びその他任意費用は含まず。				
オンライン授業の有無	状況により実施。機材・通信に係る費用は自己負担。				
修了で得られる資格	専門士(社会福祉専門課程)				
受講で目指せる資格	保育士				
目標とする人材像	子どもや家庭を取り巻くさまざまなニーズに対し、保育福祉の観点から専門的な支援を行うことのできる保育士を養成する。				
修了後の関連職種	保育所・乳児院・児童養護施設・障害児(者)施設 等				

		科目	教科	内容	時限数	
主なカリキュラム	学 科 ・ 演 習	1 年 次	必須科目	保育原理	保育内容の歴史の変遷、保育の基礎、基本理念	15
				教育原理	保育者・教育者に必要な幼児教育の規則、教育方法と根拠	15
				社会福祉	社会福祉の基礎理念の理解、社会福祉の課題考察	15
				社会的養護 I	児童福祉法に定められる児童福祉施設の理解と養護	15
				保育者論	保育者の役割や倫理、保育士制度、専門性と保育者の協働	15
				保育の心理学	精神発達と教育、乳幼児から老人までの心理と発達概念と知識	15
				子どもの保健	小児保健の意義、施策と政策の理解、青年期までの心身発達	15
				保育の計画と評価	保育課程の編成と指導計画の作成の具体的理解	15
				乳児保育 I	3歳未満児の保育の概念と意義	15
		それ以外の科目(必修)	カウンセリング理論	カウンセリングの基礎知識	15	
	2 年 次	必須科目	子ども家庭福祉	児童福祉全般の基礎、現代の児童福祉問題と援助技術	15	
			子ども家庭支援論	子育て家庭に対する意義・目的・支援の体制、現状・課題の理解	15	
			子ども家庭支援の心理学	心身の発達と保育相談の実践の理解、家庭支援の理解	15	
		それ以外の科目(必修)	幼児体育指導法	児童の体育指導、レクリエーション、健全育成と専門的指導技術習得	15	
	実 技 ・ 実 習	1 年 次	必須科目	子どもの食と栄養	小児期の成長・発達・栄養の基礎、成人までの食の知識・調理方法	15
				保育内容総論	保育の目標・内容、子どもの発達の理解と全体的構造の理解	15
				保育内容演習	子どもの理解を深め、具体的保育内容を学ぶ	45
				保育内容の理解と方法	子どもの生活と遊びの展開に必要な知識・技術の実践・理解	30
				乳児保育 II	3歳未満児の保育の概念と意義、実践	15
				子どもの健康と安全	小児保健の意義、施策と政策の理解、青年期までの心身発達	15
保育実習 I (保育所)				保育所の機能・役割理解、自らの児童・保育観を深める	40	
保育実習指導 I				保育実習にあたっての基本的知識、技術を確認	15	
図工				発達段階に応じた絵画造形の基礎、創作活動の適切な指導技術	30	
音楽				保育者・教育者に必要な基礎的な音楽技術と理論の習得	30	
カウンセリング演習				カウンセリングの基礎技能の習得	15	

主なカリキュラム		それ以外の科目(必修)	英会話	日常会話と児童福祉分野に関する基礎的英会話能力の習得	30	
			情報リテラシー	PC等での文書処理、情報収集等の基礎知識と技能習得	15	
			総合福祉技術	手話・点字・療育場面での理念と基礎技術	45	
			国際教育(集中授業)	国内外の福祉を学び、国際的感性と多角的な視点の修得	15	
	実技・実習	2年次	必須科目	子どもの理解と援助	保育実践における子どもの心身発達や学びの理解、援助の理解	15
				子どもの食と栄養	小児期の成長・発達・栄養、成人までの食の知識・調理方法	15
				保育内容演習	子どもの理解を深め、具体的保育内容を学ぶ	30
				保育内容の理解と方法	子どもの生活と遊びの展開に必要な知識・技術の実践・理解	30
				障害児保育	障害児保育の理念、特性・発達に応じた配慮の理解、療育指導の基礎	30
				社会的養護Ⅱ	社会的養護の基礎、施設養護・家庭養護の実際と計画・記録・評価	15
				子育て支援	保育相談支援の特性と展開、ケースに応じた保育相談支援の実践	15
				保育実習Ⅰ(保育所以外)	社会福祉施設、児童福祉施設の機能・役割の理解	40
				保育実習指導Ⅰ	児童福祉施設での実習にあたっての基本的知識、技術を確認	15
				保育実践演習	現場で活用できる保育内容の実践・応用	30
				選択ゼミ	施設種別・職種領域別の選択制ゼミ形式教育	60
				保育実習Ⅱ/Ⅲ	保育所/児童福祉施設の機能・役割理解	40
				保育実習指導Ⅱ/Ⅲ	保育実習Ⅱ・Ⅲにあたっての基本的知識と技能の確認	15
			それ以外の科目(必修)	こども体操教室	子どもに対する指導の基礎技術の習得	30
			学習評価	定期試験	小テスト、中間試験、期末試験 等	
			科目登録等ガイダンス		1年次4月導入研修、3月在校生ガイダンス 等	
	学校行事等	1年次				
		2年次				
	就職支援		キャリアコンサルティング(1・2年次)	ジョブカードの作成およびカードを活用した就職支援		3
			就職支援(1年次)	就職活動の基礎理解、意欲向上		1
			就職支援(2年次)	就職に必要な知識と技術、実習と就職の関連理解		1
			採用ガイダンス(2年次)	求人施設・事業所の人事担当者を招いたガイダンス		2
			OBOG就職相談会(2年次)	OB・OGによるグループ模擬面接、内定獲得に向けた力の養成		2
		入校式・オリエンテーション	入校式・オリエンテーション		2	
		ガイダンス・修了式	ガイダンス・修了式		2	
				総時限数	973	
				総時間数	1946	